

## 地材地消にこだわった 温もり満ちた三世代の家

Nさん一家は、穂別地区で明治時代から続く農家。2年前、家族のライフスタイルの変化に合わせて、住まいの建て替えを決断。かねてから温めていた「林業のまち、穂別らしい地元材での新築」という夢を、武部建設と共に実現しました。昨年暮れに完成した新居には、施主支給のカラマツの外壁、ナラのフローリング、腰壁を採用。大工の手仕事と木肌の温もりで満ちた住まいは80代、60代、20代の三世代の暮らしを優しく包み込むようです。

